

新・道の駅を 起点とした 地域活性化事業

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念の年に、市では新たに2つの地域活性化プロジェクトが始動。市内6町に点在する観光施設・観光地を結びつけ、観光周遊の活性化をはかります。

新たな挑戦

2020年 安芸高田市 地域活性化プロジェクト 始動

2021年
春
本格開業予定

道の駅と連携した市内観光周遊の新拠点

田んぼアート公園「元就新城下」

西日本最大級の田んぼアートと「元就公」にちなんだ新たなランドマーク

観覧用展望台事例



青森県
いなかだてむら
田舎館村
展望台

田んぼアート事例



青森県田舎館村「ローマの休日」

元就新城下・中世屋台村イメージ



「田んぼアート事業実施計画書」より

「田んぼアート公園」5つのエリア

1 田園芸術鑑賞 西日本最大級のスケールで描く田んぼアート

田んぼアートは、成育すると色づく特別な稲の苗を田んぼに植付けることで、まるで田んぼに絵を描いたかのように浮かびあがってくる田園芸術です。本市では、約1.4haのほ場に西日本最大級の田んぼアートを描きます。

ポイント

- 全体が眺望できる展望台を設置。
- 稲の成育に合わせて色が変化するので何度でも楽しめる。
- 春の田植えから秋の稲刈りまで長期間楽しめる。
- 毎年デザインを変えることで新鮮なイベントになる。
- 話題のテーマを作図することでタイムリーな人気を得ることができる。

2 飲食娯楽 元就新城下 中世屋台村を新設

元就公没後450年を記念して、中世の城下町を模した屋台村を設置し、来場者に向けて飲食のサービスを提供。年間を通して楽しめる様々な店舗構成を目指します。

3 物販

市の名産品や物産品を紹介、販売します。

4 公園

田んぼアート鑑賞期間(約4か月)以外も利用できる公園スペース。様々なアートの展示も行う予定です。

5 休憩

椅子、机を設置しフードコートスペースとしても活用できます。トイレ、パーキングスペースも設置。



新・道の駅

吉田町山手

約500m

田んぼアート公園

吉田町可愛

2施設の年間来場者数予測 約50万人

2020年
5月
開業予定

地域活性化のための総合交流拠点

新・道の駅「(仮称)あきたかた」

産直市を核とした観光ニーズに応える道の駅

「新・道の駅」5つの機能

1 物販 地元の新鮮野菜 物産品・特産品



外観イメージ

ふれあいたかた産直市の
大幅なリニューアル

道の駅全体のシンボル

観光客を呼び込む集客施設

道の駅完成予想図



※実際とは異なる場合があります。

計画地/吉田町山手(現ふれあいたかた産直市)

2 飲食 レストラン・カフェ・ベーカリーを新設



レストランイメージ

ベーカリーイメージ

3 休憩

充実した休憩施設
と24時間トイレ

4 防災

災害時における
地域の防災拠点

5 情報拠点

観光活性化の
情報拠点

道の駅を基点とした周遊イメージ

